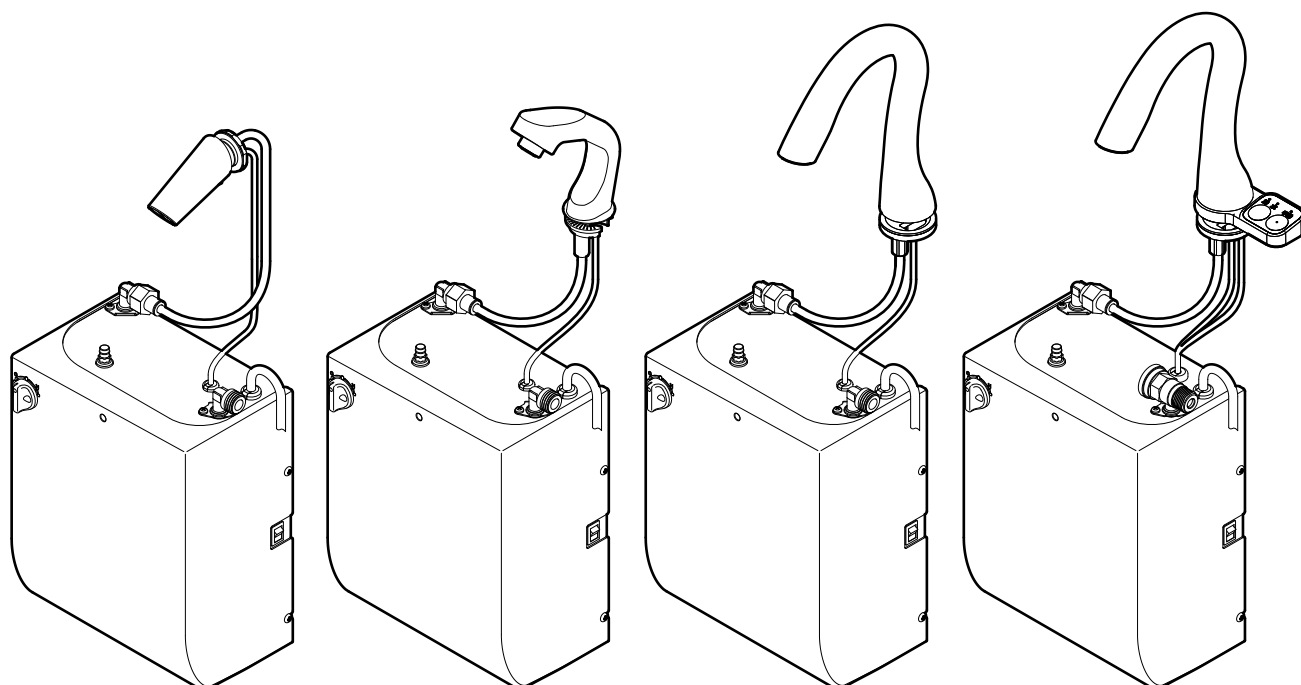


工事要領・取扱説明書

製品名：自動水栓付小型電気温水器(元止式)

型 式：ESWM3(C)



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領、取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
ESWM3(C)について	5
各部名称および寸法図	5
ラインナップ	6
仕様	7
自動水栓について	8
工事要領	12
施工前にご確認ください	13
1. 部品の確認	13
2. 設置場所の確認	14
施工する	15
1. 設置工事	15
2. 配管工事	20
3. 電気工事	22
4. 施工後の確認	23
試運転を行う	24
1. 温水器に給水する	24
2. 試運転を行う	26
3. 試運転後の確認	27
取扱説明	28
使用方法	29
1. 使用前の準備と確認	29
2. 運転する	29
3. 出湯温度の変更方法	30
4. 出湯する	30
5. 出水する	31
お手入れの方法	32
保守点検項目と実施の目安	32
長期間使用しないときは	32
短期間使用しないときは	34
吐水口の清掃	34
ストレーナーの清掃(ESWM3□FW以外の場合)	35
ストレーナーの清掃(ESWM3□FWの場合)	36
温水器のお手入れ	37
自動水栓のお手入れ	37
こんなときは	38
故障かな？と思ったら	38
前面カバーの取り外し方法	41
リセットの方法	42
給湯接続チューブの取り外し方法	43
定流量弁の取り外し方法	44
アフターサービス	45
消耗品について	45
補修用性能部品について	45
メンテナンス契約について	45
修理をご依頼の際には	45

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために
お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解され
た上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

-  **警告** この表示の欄は、『死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。
-  **注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



○の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
○の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

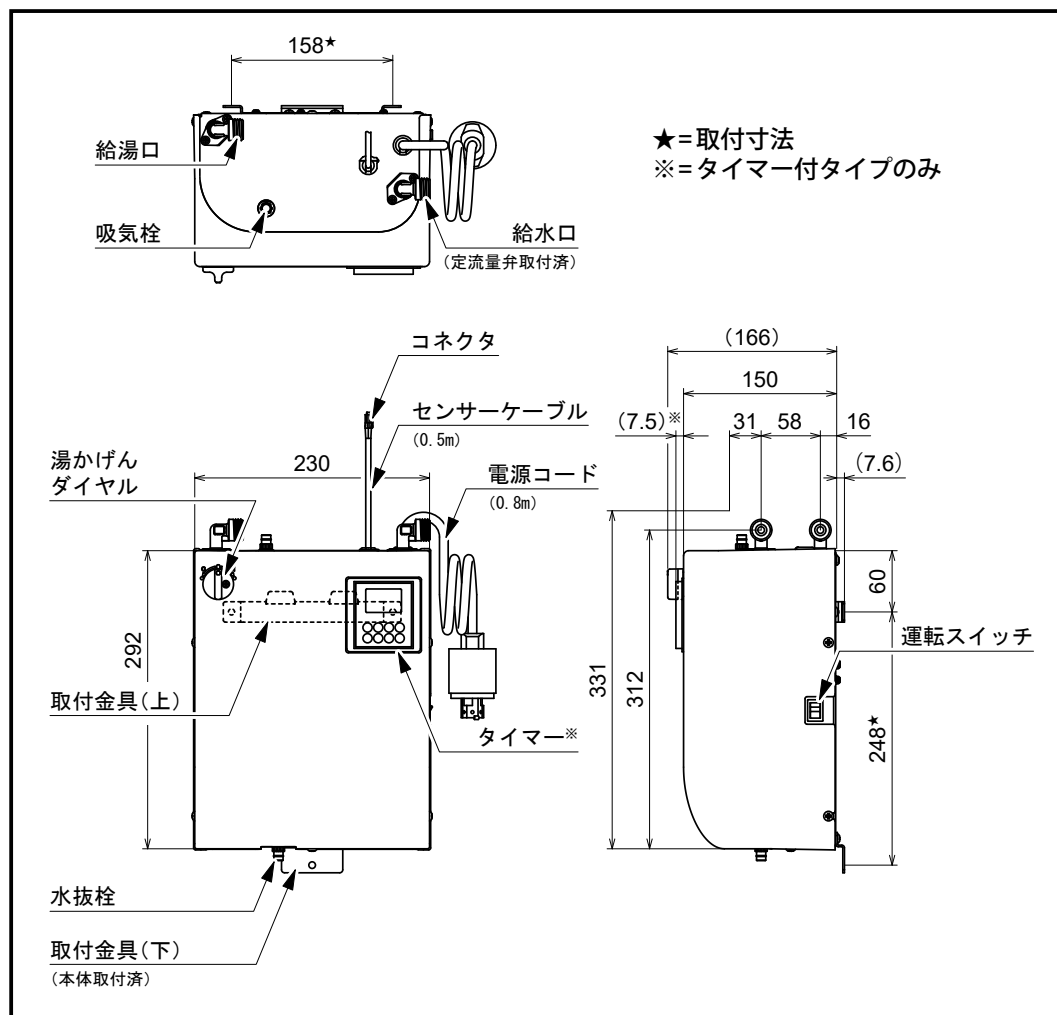
 警告	
	アース(D種接地)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。 故障、火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	設置時、リセット操作時、メンテナンス作業時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。 配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。
	水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。

⚠注意	
⊘	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、感電の原因となります。
	自動水栓の吐水口に浄水器など抵抗となるものを取り付けしないでください。 漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は使用しないでください。 健康を害するおそれがあります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。 凍結により破損、漏水のおそれがあります。
!	満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉、砂、シールテープ等)を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力(静止圧)にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。

ESWM3(C)について

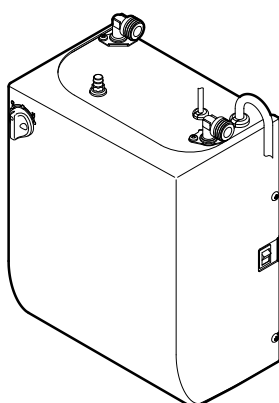
本製品は約 75℃に沸かし上げたお湯を水と混合して約 37℃(工場出荷時)の安全な温度で出湯する元止式の壁掛型自動水栓付小型電気温水器です。

各部名称および寸法図



ラインナップ

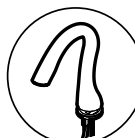
シンプルな標準タイプの本体



ESWM3ASK(C)
壁付タイプの自動水栓セット。

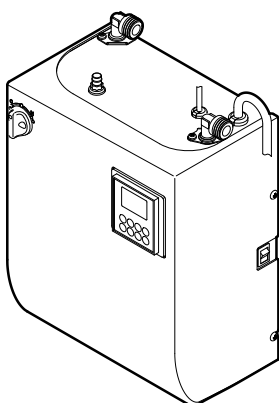


ESWM3ASS(C)
スタンダードタイプの自動水栓
セット。



ESWM3ASW(C)
スワントタイプの自動水栓セット。

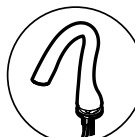
便利なデジタルタイマー付きの本体



ESWM3TSK(C)
壁付タイプの自動水栓セット。

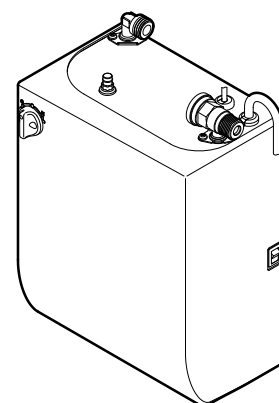


ESWM3TSS(C)
スタンダードタイプの自動水栓
セット。



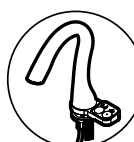
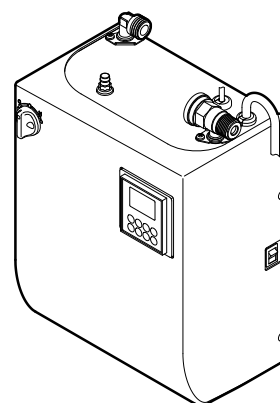
ESWM3TSW(C)
スワントタイプの自動水栓セット。

シンプルな標準タイプの本体



ESWM3AFW(C)
「湯水切替」・「手動出湯」の2ボ
タン付スワントタイプの自動水栓
セット。

便利なデジタルタイマー付きの本体



ESWM3TFW(C)
「湯水切替」・「手動出湯」の2ボ
タン付スワントタイプの自動水栓
セット。

共通項目

ESWM3(C)について

仕様

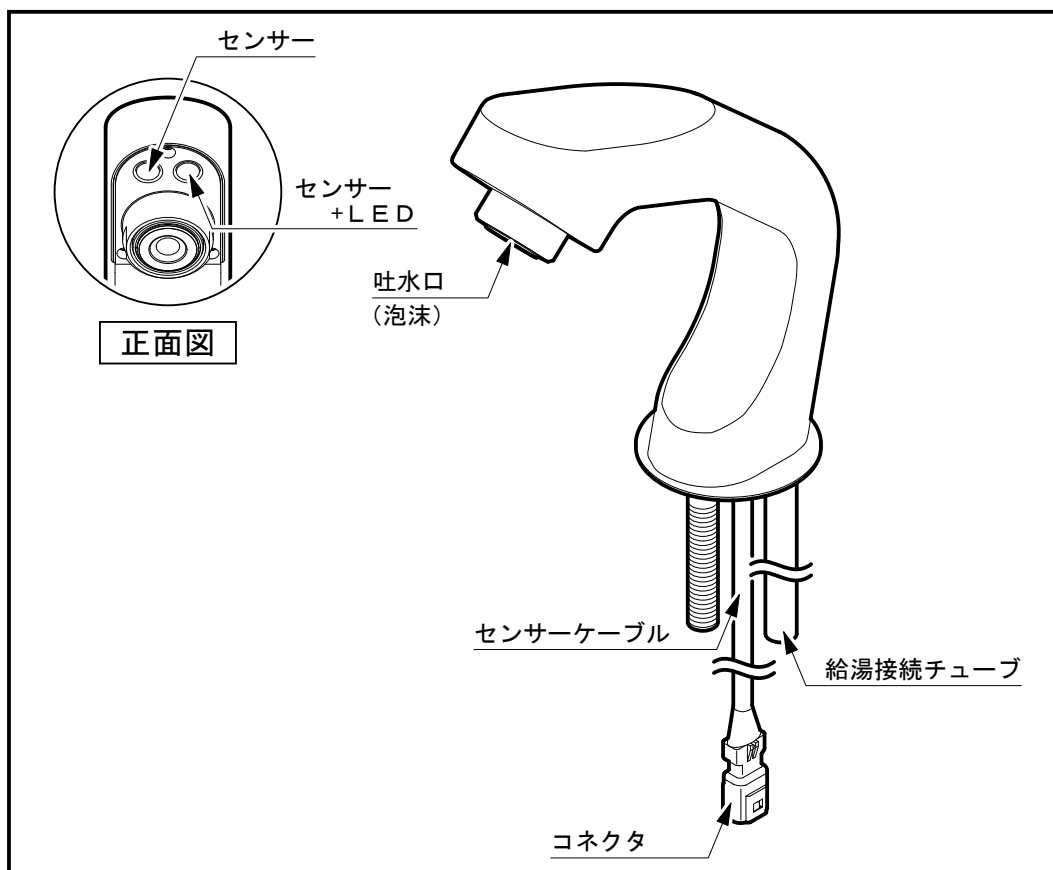
型式		ESWM3(C)							
型番		タイマ無				タイマ有			
		ESWM3 ASK(C)	ESWM3 ASS(C)	ESWM3 ASW(C)	ESWM3 AFW(C)	ESWM3 TSK(C)	ESWM3 TSS(C)	ESWM3 TSW(C)	ESWM3 TFW(C)
貯湯量		約 3L							
定格	電圧	単相 100/200V							
	周波数	50/60Hz							
	消費電力	0.6kW							
設定温度(沸かし上げ温度)		約 75℃							
出湯温度(調節範囲目安)		37℃※ ¹ ※ ² (± 3℃)							
外形寸法 D×W×H		(166)mm×230mm×292mm※ ³							
満水質量		約 5.7kg		約 6.0kg		約 6.0kg		約 6.3kg	
使用 条件	設置環境温度	0～40℃(凍結しないこと)							
	一次側使用水温	30℃以下(凍結しないこと)							
	使用圧力(静止時)	0.1～0.5MPa							
	設置場所	屋内							
主要 部品	ヒーター	シーズヒーター							
	センサーケーブル	0.5m							
	電源コード	0.8m							
	電源プラグ	単相 100V				単相 200V			
対応コンセント (パナソニック品番)		差込型 / 接地 2P 125V/15A				引掛形 / 接地 2P 250V/20A			
安全装置		空焚き検出、過昇温検出							
接続 口径	給水口	G1/2(おねじ)							
	給湯口	G1/2(おねじ)							
	水抜栓	適合ホース内径 9mm							

※ 1: お湯の出はじめに瞬間的に温度が高くなる場合があります。(約 43℃)

※ 2: 沸き上がり温度: 75℃、給水温度: 15℃時、出湯流量: 3L/min時

※ 3: () 内寸法は湯かげんダイヤルを含めた寸法です。(P.5「各部名称および寸法図」参照)

自動水栓について

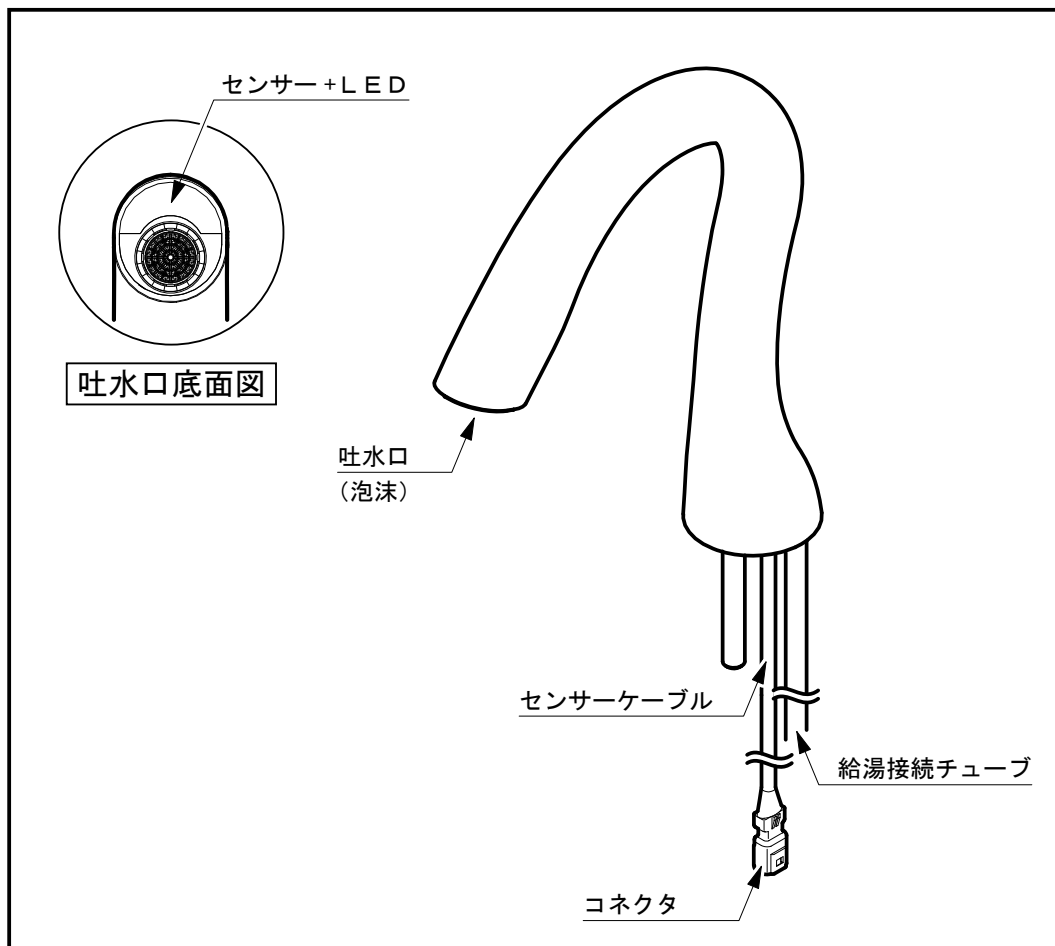


型式	スタンダードタイプ
寸法	幅 33mm × 奥行 130mm × 高さ 149.5mm
質量	約 0.6kg
取付穴径	推奨値：φ 28mm (許容範囲：φ 24 ～ φ 35mm)
給湯接続チューブ長	約 900mm
センサーケーブル長	約 350mm
使用電源	AC100-200V (電気温水器より供給)
消費電力	動作時：7W以下 待機時：1W以下
連続出湯時間	1分間
出湯流量	約 2 ～ 4L/min [※]

※出湯流量は給水圧力により上記範囲内で変動します。4L/min以上の流量が出てしまう場合には止水栓側で調整を行ってください。

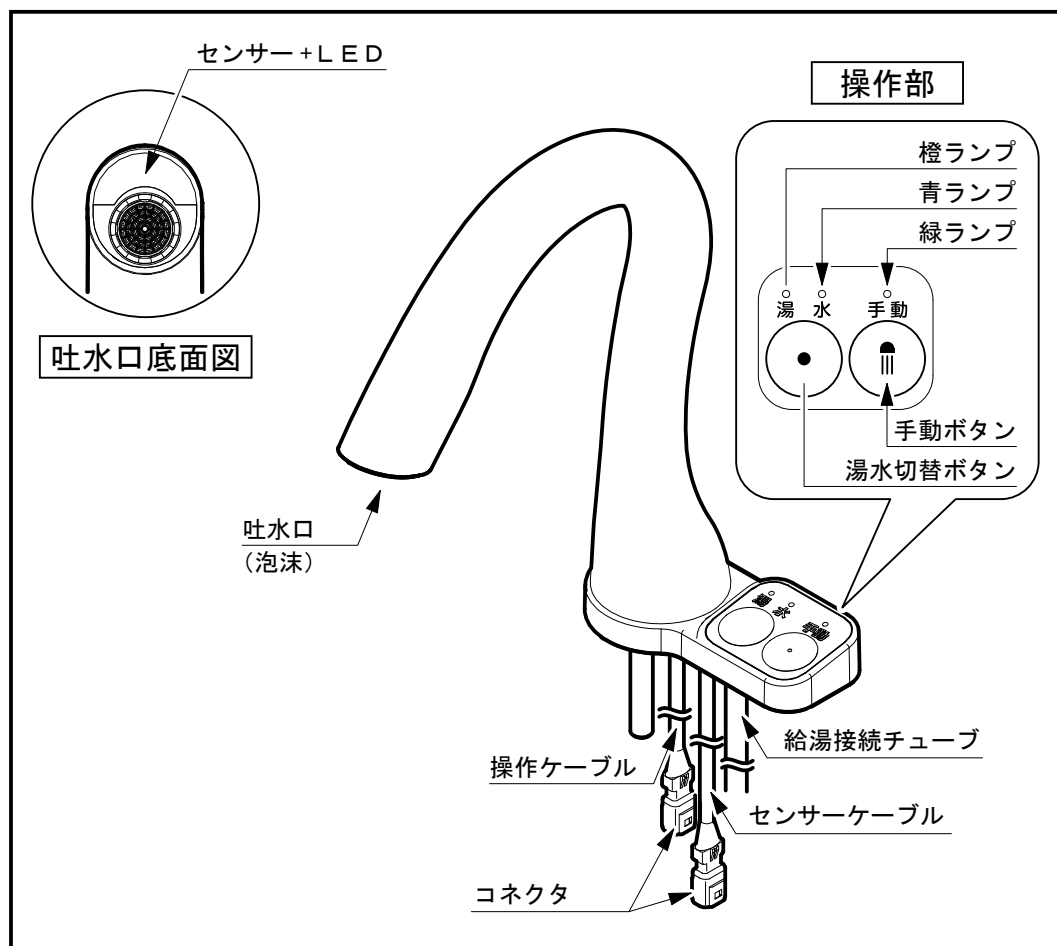
共通項目

自動水栓について



型式	スワンタイプ
寸法	幅 50mm × 奥行 181mm × 高さ 210mm
質量	約 1kg
取付穴径	推奨値：φ 28mm (許容範囲：φ 25 ～ φ 38mm)
給湯接続チューブ長	約 900mm
センサーケーブル長	約 350mm
使用電源	AC100-200V (電気温水器より供給)
消費電力	動作時：7W 以下 待機時：1W 以下
連続出湯時間	1 分間
出湯流量	約 2 ～ 4L/min [※]

※出湯流量は給水圧力により上記範囲内で変動します。4L/min以上の流量が出てしまう場合には止水栓側で調整を行ってください。

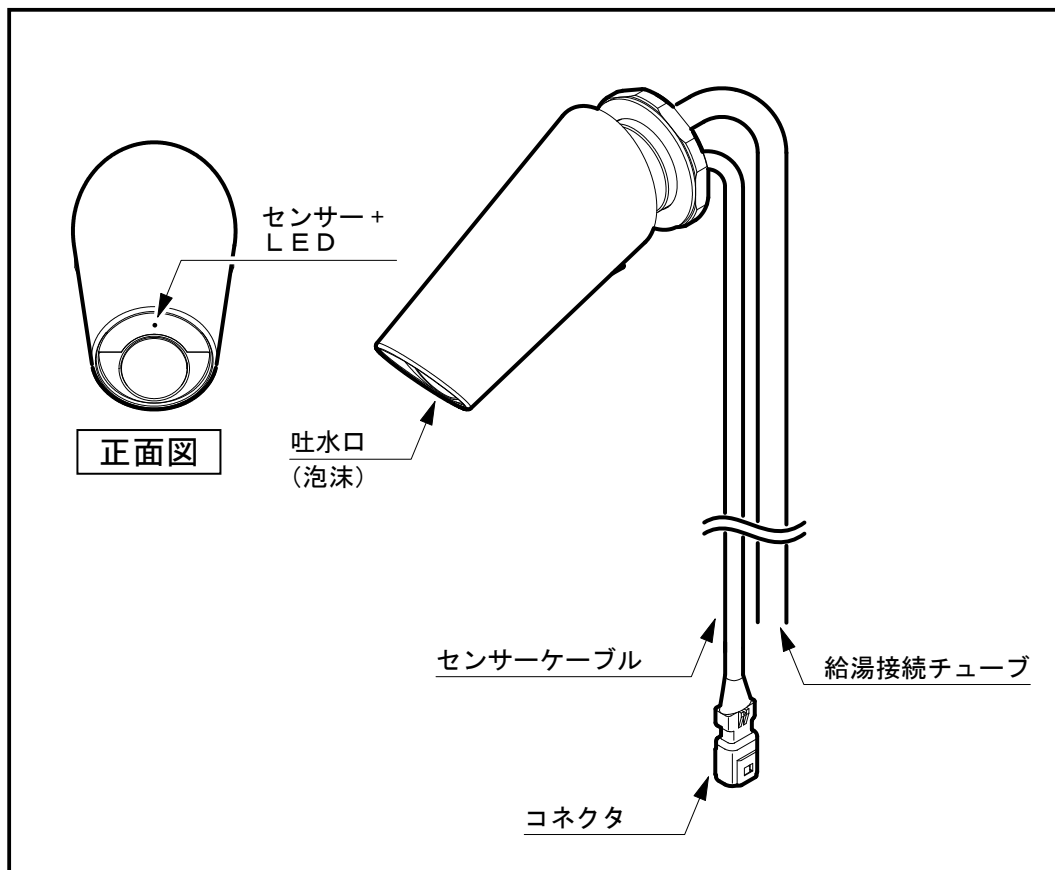


型式	2ボタン付スワンタイプ
寸法	幅 50mm × 奥行 183.mm × 高さ 222mm
質量	約 1kg
取付穴径	推奨値：φ 28mm (許容範囲：φ 25 ～ φ 38mm)
給湯接続チューブ長	約 900mm
センサーケーブル長	約 350mm
操作ケーブル長	約 350mm
使用電源	AC100-200V (電気温水器より供給)
消費電力	動作時：7W 以下 待機時：1W 以下
連続出湯時間	1 分間
出湯流量	約 2 ～ 4L/min*

※出湯流量は給水圧力により上記範囲内で変動します。4L/min以上の流量が出てしまう場合には止水栓側で調整を行ってください。

共通項目

自動水栓について



型式	壁付タイプ
寸法	幅(根本)41mm×奥行 81mm×高さ67mm
質量	約 0.6kg
取付穴径	推奨値：φ29(許容範囲：φ21～φ31)
給湯接続チューブ長	約 1,200mm
センサーケーブル長	約 650mm
使用電源	AC100-200V(電気温水器より供給)
消費電力	動作時：7W以下 待機時：1W以下
連続出湯時間	1 分間
出湯流量	約 2～4L/min(推奨値：約 3L/min)※

※出湯流量は給水圧力により上記範囲内で変動します。4L/min以上の流量が出てしまう場合には止水栓側で調整を行ってください。

工事要領

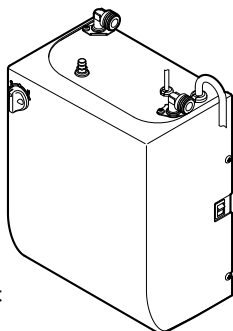
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

本体



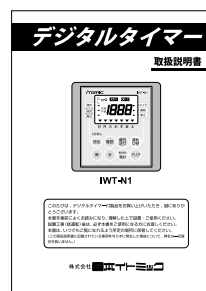
各型番の違いは
P.6参照

付属品(型番により異なるもの)

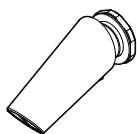
タイマー付タイプ

デジタルタイマー 取扱説明書×1

※工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。



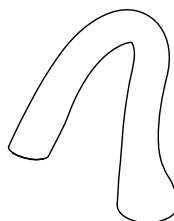
自動水栓 壁付タイプ



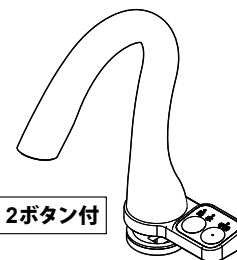
自動水栓 スタンダードタイプ



自動水栓 スワンタイプ

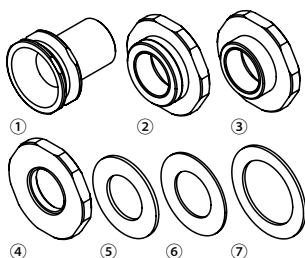


自動水栓 スワンタイプ



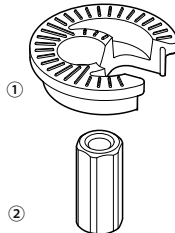
2ボタン付

付属品



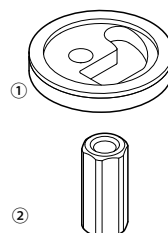
壁付タイプ用

- ①スパウト固定金具×1
- ②φ28～φ31用取付ナット×1
- ③φ25～φ28用取付ナット×1
- ④φ21～φ25用取付ナット×1
- ⑤パッキン(黒色)×1
- ⑥スリップワッシャー(半透明)×1
- ⑦両面テープ付きパッキン(黒色)×1



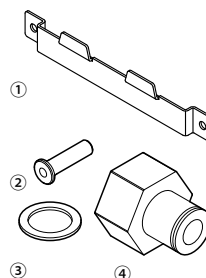
スタンダード用

- ①取付座×1
- ②取付ナット×1



スワン用

- ①取付座×1
- ②取付ナット×1



共通

- ①取付金具(上)×1
- ②インサートリング×1
- ③パッキン×1
- ④ワンタッチチューブコネクタ×1



工事要領・取扱説明書

※この冊子です。工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品 (→ P.21『標準配管図』参照)

- ①漏電ブレーカ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ②プラスチックアンカー 温水器を取り付ける際に必要です。(3本)
- ③木ねじ 温水器を取り付ける際に必要です。(3本)
- ④ステンレスフレキ管 配管するために必要です。
- ⑤止水栓 排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
- ⑥パッキン・シールテープ 配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。

2. 設置場所の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結する場所ではご使用になれません。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことができません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1 ～ 0.5MPaの範囲内ですか？ 温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
電圧	定格電圧の± 10 % 以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の± 10 % 以内の電圧であることを確認してください。	☐

ESWM3(C)型の離隔距離

本製品は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

※必ずメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことが出来ません。

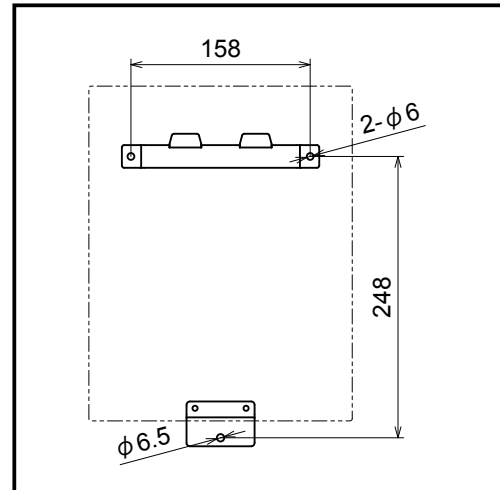
消防法 基準適合 組込形	
場所	離隔距離 (cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

施工する

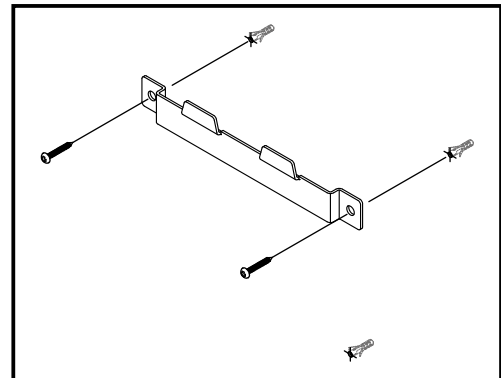
1. 設置工事

電気温水器の設置

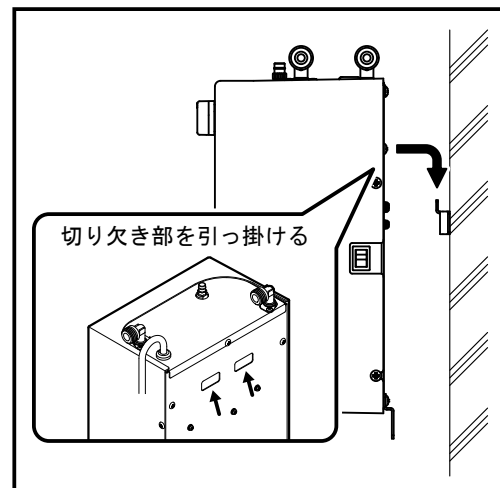
- ① 温水器を取り付ける位置を決定し、取付木ねじ位置に印をつけます。
- ② 印をつけた位置 3ヶ所に下穴を開け、プラスチックアンカー※(お客様手配品)を打ち込みます。
※推奨プラスチックアンカー
…フォーエース 4A-628K(日本ドライビット製)



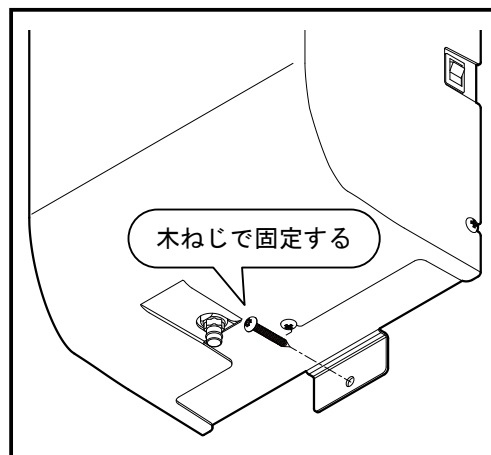
- ③ 上側 2ヶ所に打ち込んだプラスチックアンカーに木ねじ※(お客様手配品)で取付金具(上)を取り付けます。
※推奨木ねじサイズ… $\phi 3.8 \times 32$



- ④ 温水器背面の切り欠き部に取付金具(上)を挿しこみ、温水器を引っ掛けます。



- ⑤取付金具(下)を木ねじ(お客様手配品)で固定します。



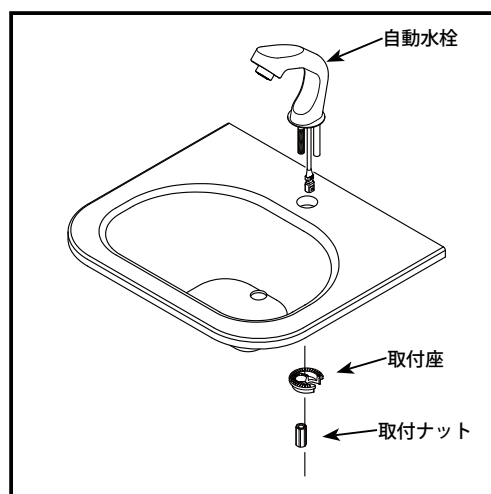
自動水栓の設置

- ・自動水栓を取り付ける洗面器の推奨は「陶器製・ホーロー製・樹脂製」となります。
- ・ステンレスシンクや特に鏡面仕上げのシンクについては誤作動を起こす可能性があります。
- ・シンクが小さい場合や浅い場合などで、センサーがシンク内面から外れ、距離を正しく認識しないことがあります。この場合、人が水栓の前に立つだけで出湯することがあります。
- ・反射率が良いシンクではセンサーから少しでも手がズレた場合に出湯が止まる等、使用感に影響を及ぼすことがあります。
- ・センサーは赤外線透過するガラスやステンレス製およびめっき仕上げのコップ等は感知できません。



【スタンダードタイプ／スワンタイプの場合】

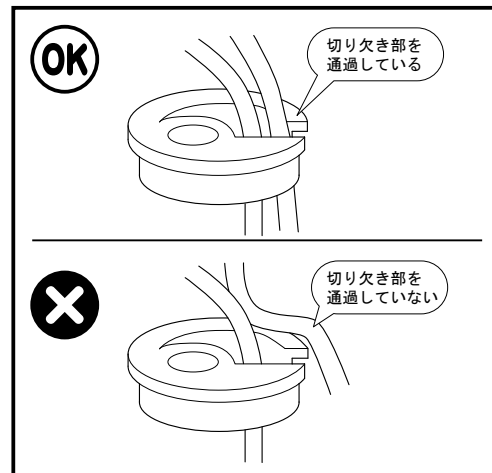
- ①自動水栓の設置場所に取付穴を開けてください。
(推奨穴径：φ28mm。)
- ②取付穴にセンサーケーブル、給湯接続チューブを通します。
- ③取付座の切り欠き部分にセンサーケーブル、給湯接続チューブを通し、ソケットレンチ等を使用し取付ナットを締め込みます。



※上図はスタンダードタイプのものですがスワンタイプでも手順は同様です。

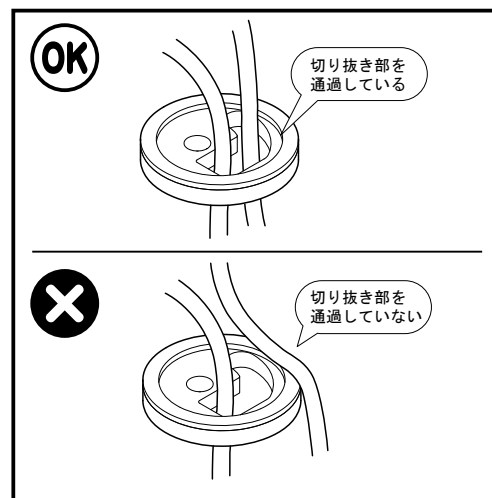
【スタンダードタイプの場合】

※取付座の切り欠き部を通過させずに固定した場合、ケーブル破損や漏水などの不具合につながるおそれがありますのでご注意ください。



【スワンタイプの場合】

※取付座の切り抜き部を通過させずに固定した場合、ケーブル破損や漏水などの不具合につながるおそれがありますのでご注意ください。

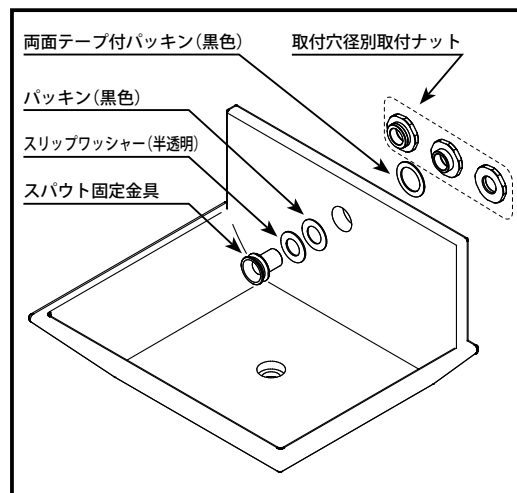


【壁付タイプの場合】

①自動水栓の設置場所に取り付穴を開けてください。
(推奨穴径: $\phi 29\text{mm}$ 適用範囲 $\phi 21 \sim 31\text{mm}$)

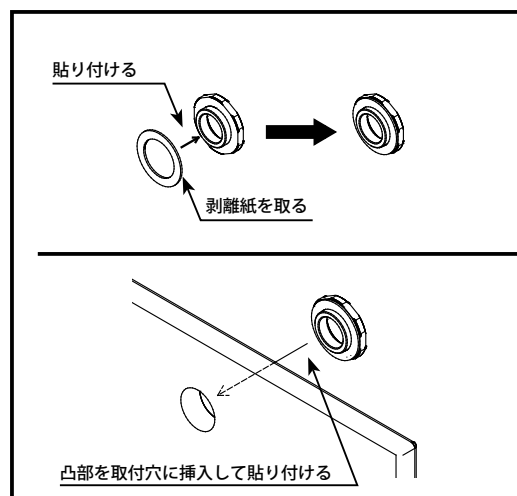
②取付穴に付属のスパウト固定金具・スリップワッシャー・パッキン・両面テープ付パッキン・取付ナットを付けます。

※取付ナットは穴径にあった物を使用してください。

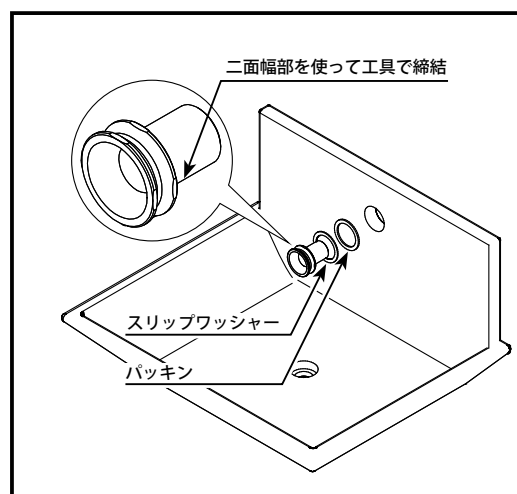


③最初に、両面テープ付パッキンの片面の剥離紙を取り、取付ナットに貼り付けてください。

④取付ナットに貼り付けた両面テープ付パッキンのもう片方の剥離紙を取り、洗面器(もしくはカウンター)裏面から取付穴に合わせて貼り付けてください。



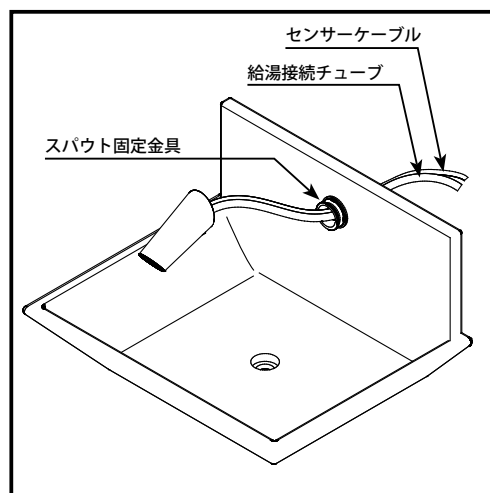
⑤スパウト固定金具にスリップワッシャー・パッキンの順にはめ込み、洗面器(もしくはカウンター)の表面から取付穴に挿入し、取付ナットへねじ込んで締結してください。



工事要領

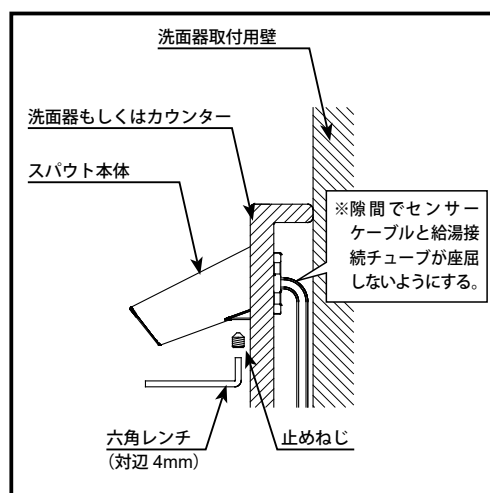
施工する

- ⑥ センサーケーブル (灰色) を先に通し、その後給湯接続チューブ (黒色) を通してください。



- ⑦ スパウトを洗面器 (もしくはカウンター) の面に密着させ、対辺 4mm の六角レンチを使用して止めねじで固定してください。

※ 洗面器 (もしくはカウンター) の裏面でセンサーケーブルと給湯接続チューブが座屈しないように注意してください。

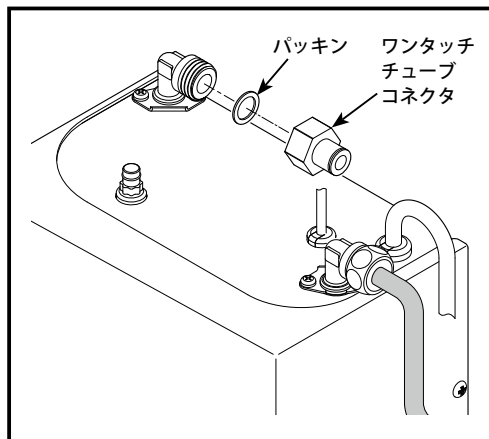


2. 配管工事



- ・袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。
- ・給湯接続チューブを挿し込んだ後に軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ・給湯接続チューブを取り外す際は、P.43『給湯接続チューブの取り外し方法』を参照してください。

- ①給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。
- ②給水接続口についているキャップを取り外して給水配管を行ってください。
- ③給湯接続口についているキャップを取り外してワンタッチチューブコネクタ（付属品）を取り付けてください。

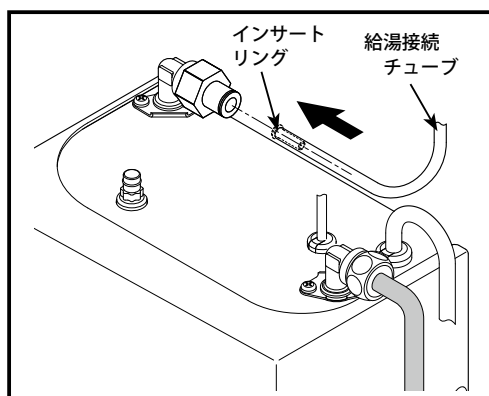


- ④自動水栓の給湯接続チューブにインサートリングを取り付け、ワンタッチチューブコネクタに挿し込んでください。

※給湯接続チューブの挿し込みやインサートリングの取付けが不十分な場合、漏水のおそれがあります。

※漏水のおそれがあるため給湯接続チューブは切断しないでください。

※吐水不良が起こる原因となるため給湯接続チューブは折れ曲がらないように施工してください。（ホースを束ねる場合は曲げ半径を30mm以上にしてください）

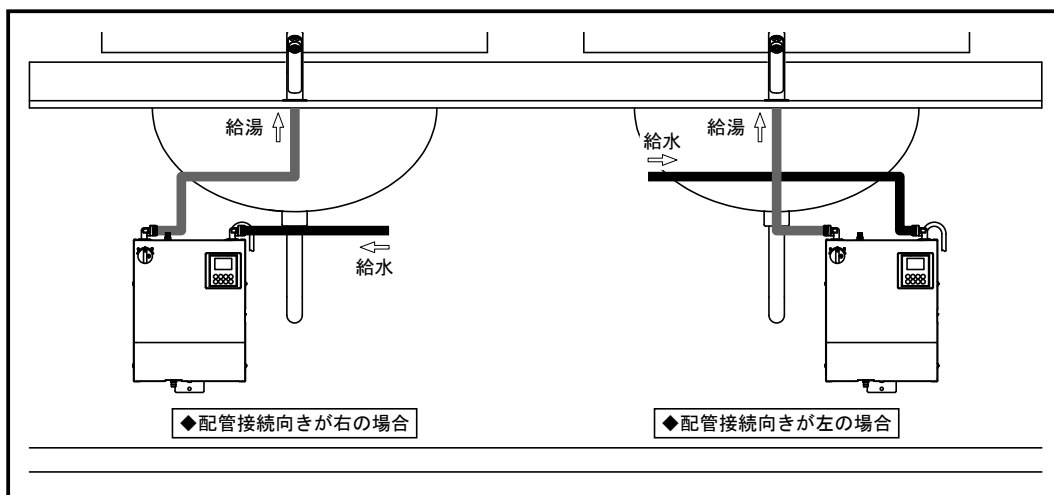


工事要領

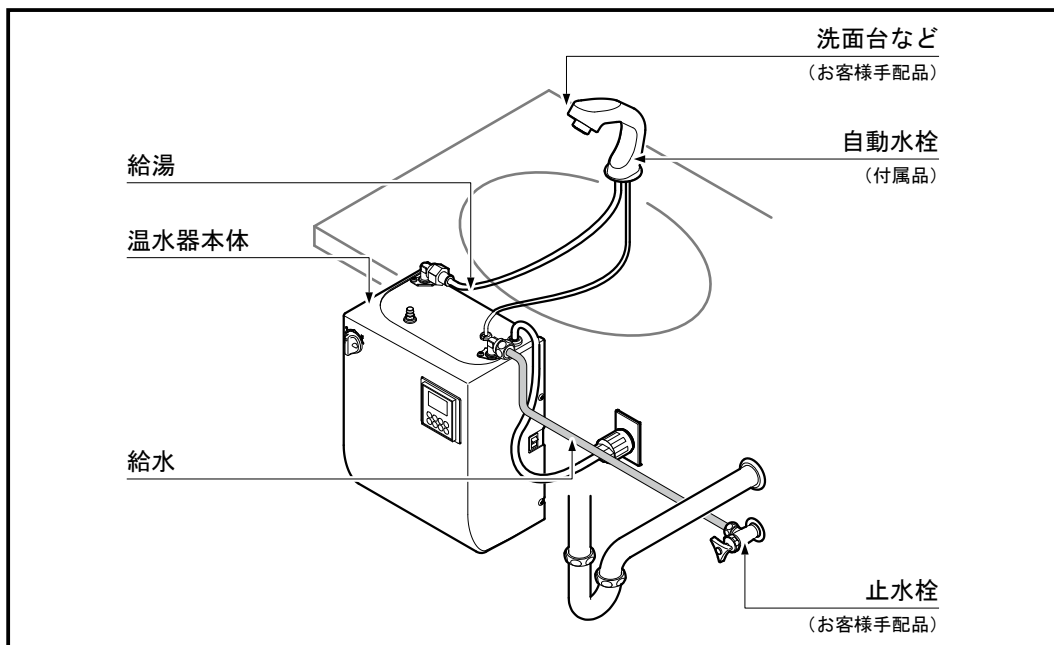
施工する

配管接続向きについて

ESWM3(C)の配管接続口(給水口・給湯口)は左右に回転可能です。
設置状況に応じて配管接続向きを変更してください。



標準配管図



※図の自動水栓はスタンダードタイプですが壁付タイプ、スワンタイプでも同様です。
2ボタン付のスワンタイプはセンサーケーブルが2本になります。

3. 電気工事

- ①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種設置工事を行ってください。

自動水栓の電源接続方法

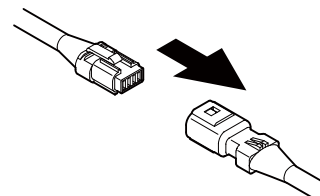
- ①電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。

【200V タイプの場合】



- ②温水器側、自動水栓側それぞれのセンサーケーブル先端にあるコネクタをしっかりと接続してください。
(ESWM3□FWタイプの場合はセンサーケーブルの他に操作ケーブルの接続も必要になります。)

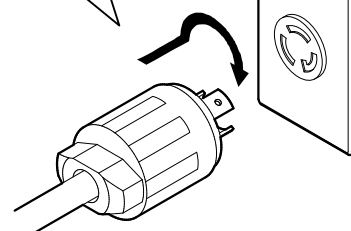
※濡れた手でコネクタに触れると故障の原因となりますので、ご注意ください。



- ③電源プラグをコンセントに差し込んでください。

【200V タイプの場合】

差し込んで右に回す



工事要領

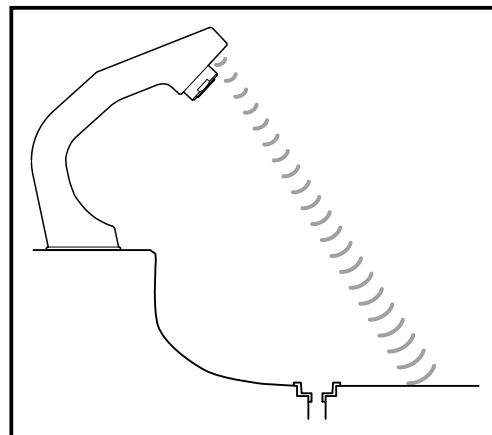
施工する

④電源を投入すると自動水栓が自動的に感知距離調整を行います。完了後はLEDが2回点滅します。

※調整に失敗するとLEDが繰り返し点滅し続けます。センサー面の汚れや障害物の有無などを確認してください。

汚れや障害物を取り除くと再度自動的に感知距離調整を行います。

※図はスタンダードタイプですが、壁付タイプ、スワンタイプも同様です。



4. 施工後の確認

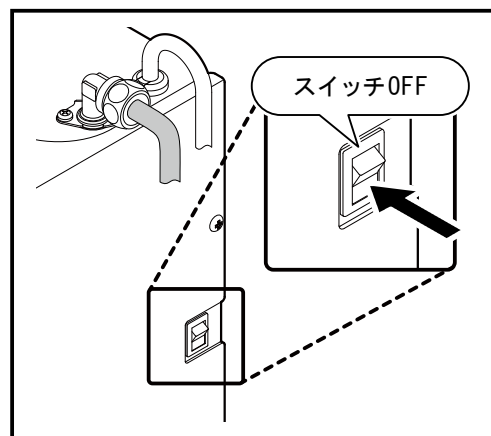
チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	温水器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	給水管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

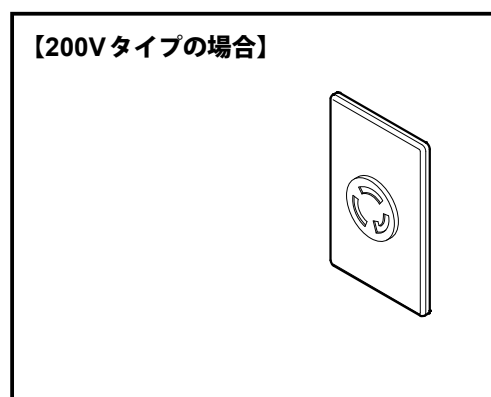
試運転を行う

1. 温水器に給水する

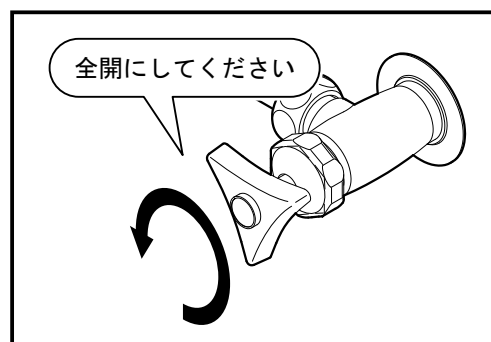
- ① 運転スイッチがOFFになっていることを確認してください。



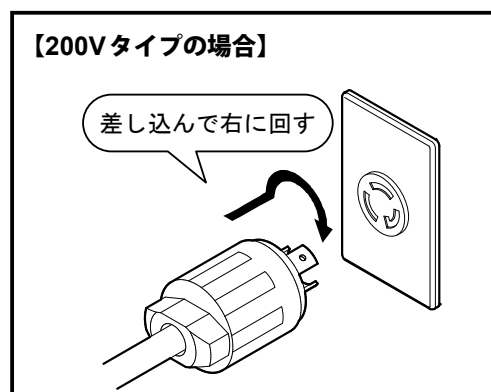
- ② 電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。



- ③ 止水栓を全開にしてください。



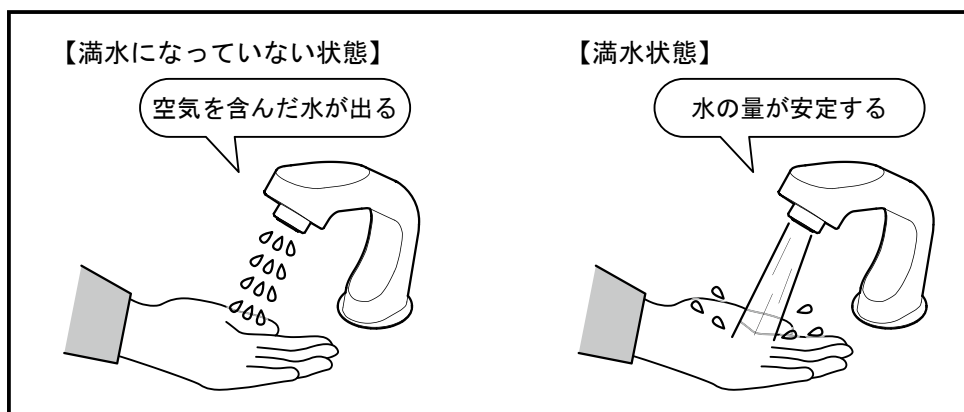
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



工事要領

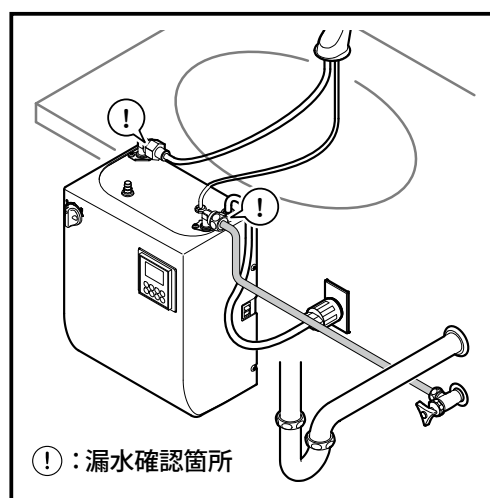
試運転を行う

- ⑤水の量が安定するまで自動水栓から出水してください。
(温水器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。)



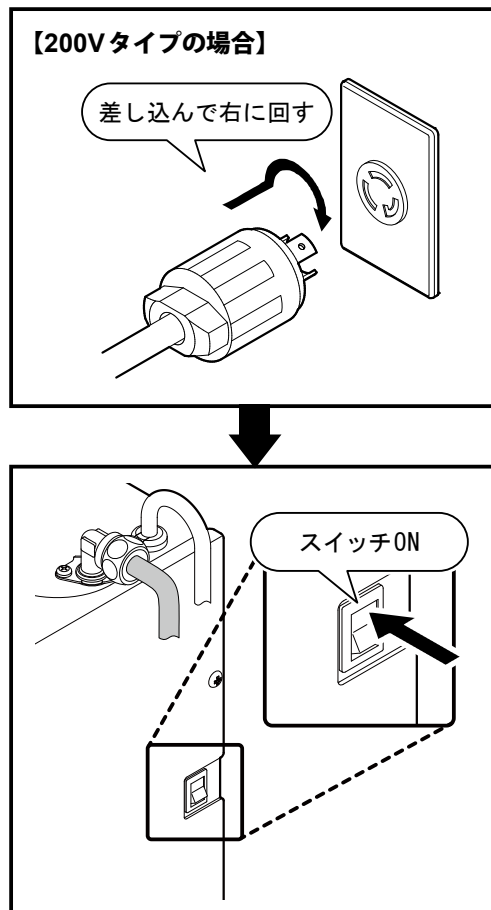
- ESWM3 □ FWをお使いの場合は、湯水切替設定を湯側(橙ランプ点灯)にし、手動ボタンを押して出水させることでも給水可能です。

- ⑥温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



2. 試運転を行う

- ①電源プラグをコンセントに差し込み、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。



- ②しばらくした後*に水栓からお湯が出ることを確認してください。

※自動水栓は手を差し出している状態でも、1分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。続けてお湯を出したい場合には、一度手を離してから再度手を差し出す動作を、必要に応じて繰り返してください。

※感知距離調整に失敗している場合 LEDが繰り返し点滅し続けます。センサー面の汚れや障害物の有無などを確認してください。汚れや障害物を取り除くと再度自動的に感知距離調整を行います。

※本製品は元止め式のため、沸し上げ中は吐水口からポタポタと膨張水が滴下しますが異常ではありません。沸し上げが終了すると滴下は止まります。

- ★：運転スイッチをONにしてから沸かし上がるまでは多少時間がかかります。(P.27『沸き上がり時間の目安』参照)



工事要領

試運転を行う

③水栓の流量を確認します。

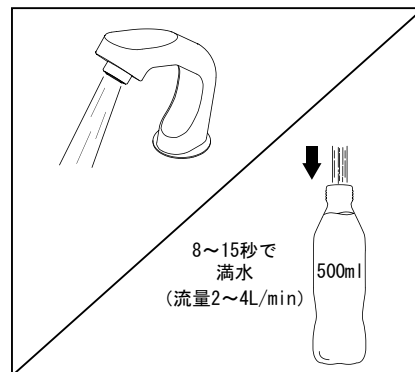
センサー部に手をかざし、水を出します。推奨流量は約 2 ～ 4L/min です。

流量 2 ～ 4L/min の間でお好みの流量に止水栓にて調整してください。

※ 500ml ペットボトルで流量調整が可能です。下表をご参照ください。

ペットボトルで計測する場合の流量の目安

流量 (L/min)	500ml ペットボトルの満水時間
2	約 15 秒
3	約 10 秒
4	約 8 秒



流量が少ないと感じた場合には、P.44『定流量弁の取り外し方法』を参照し、給水口に取り付けられた定流量弁を取り外して、止水栓で流量を調整してください。

沸き上がり時間の目安

定格電圧	貯湯量(リットル)	標準ヒーター容量(kW)	沸き上がり時間※1			使用範囲の目安(人)※2
			給水温			
			5℃	15℃	25℃	
単相 100V	約 3	0.6	22分	19分	16分	約 14
単相 200V						

※1: 沸き上がり時間の算出: 沸き上がり温度 75℃ の場合。

※2: 使用範囲の目安: 1 人当たり 0.5 リットル、37℃ にて算出。(給水 15℃、沸き上がり温度 75℃)

3. 試運転後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
漏 水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？ 試運転後は P.35-36 を参照し、ストレーナーの清掃を行ってください。	☐
給 湯	自動水栓に手をかざすとお湯が出ますか？	☐

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1. 使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

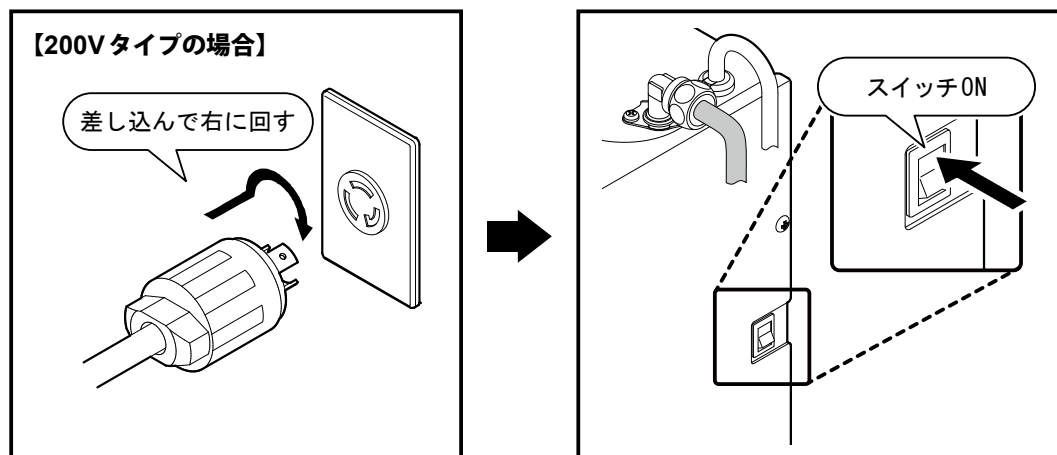
項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐

2. 運転する

① P.24『温水器に給水する』を参照し、温水器に給水してください。

② 電源プラグをコンセントに差し込み、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。

タイマー付のESWM3T□□をお使いの場合は、運転スイッチをONにすると工場設定の自動運転【おすすめプログラム】(下記「タイマー運転について」参照)で運転を始めます。



※本製品は元止式のため、沸かし上げ中は吐水口からポタポタと膨張水が滴下しますが異常ではありません。沸かし上げが終了すると滴下は止まります。

タイマー運転について(ESWM3T□□のみ)

ESWM3T□□は、組み込まれたデジタルタイマーに汎用的な運転設定「おすすめプログラム」が工場出荷時にインプットされています。運転開始時は、この「おすすめプログラム」で設定されたスケジュールに沿って運転を開始します。(機能と操作方法については、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。)

おすすめプログラム運転設定	
運転曜日	月～金曜日
運転時間	6:30 ～ 18:30

3. 出湯温度の変更方法

出湯温度は、本体前面にある湯かげんダイヤルを操作することで一定の範囲内での調節が可能です。

調節範囲の目安は下記目安を参照してください。

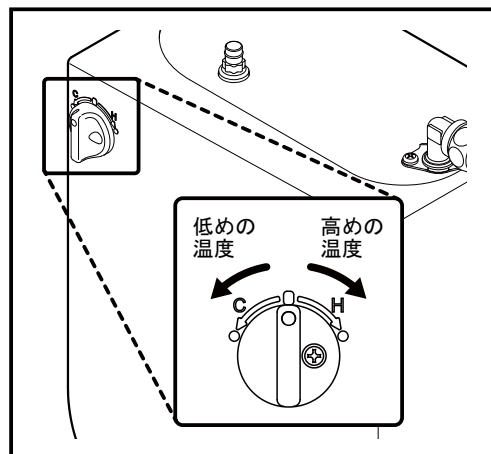
【出湯温度調節範囲内の目安】

34℃(下限) ～ 40℃(上限)

※沸き上がり温度：75℃、給水温度：15℃時

出湯流量：3L/min時

※給水温度やタンク内の温度、出湯流量によって出湯温度は変動します。



4. 出湯する

自動水栓は水栓の下に手を差し出すだけでセンサーが感知し、お湯が出ます。

手を離すと約 1 秒後に自動的に止まります。手を差し出している状態でも、1 分間お湯を出し続けると、節水機能により自動的にお湯が止まります。

続けてお湯を出したい場合には、一度手を離してから再度手を差し出す動作を、必要に応じて繰り返してください。



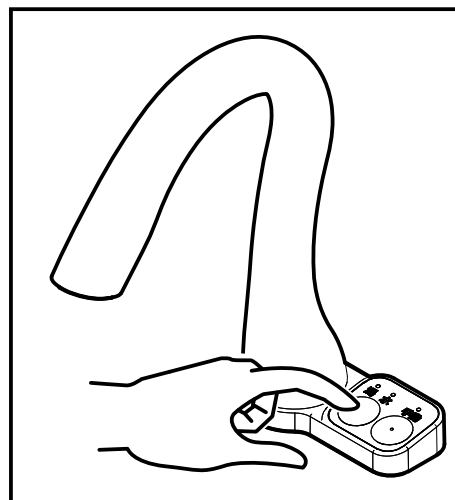
ボタン操作について (ESWM3 □ FWのみ)

・湯水切替

左側の「湯水切替ボタン」を 1 回押すごとに湯水が切り替わります。上部のランプで設定中のモードが確認できます。
 橙ランプ点灯中はお湯、青ランプ点灯中は水を吐水します。

・吐水モード切替

右側の「手動ボタン」を押すと、最大 1 分間の手動出湯モードとなり連続吐水します。連続吐水は再度「手動ボタン」を押すか、1 分経過すると自動停止します。
 連続吐水中はボタン上の緑ランプが点灯し、連続吐水が解除されると消灯します。

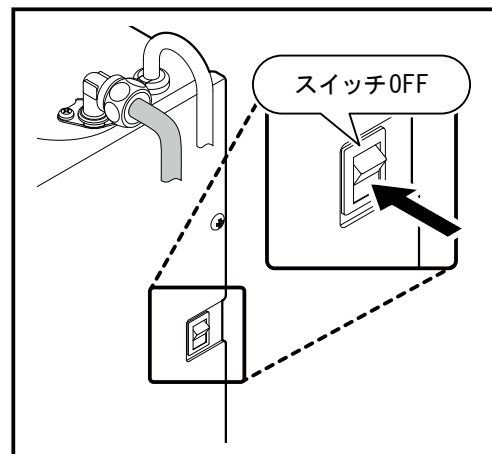


5. 出水する（自動水栓を使用する場合のみ）

夏場などお湯を必要としない場合は、運転スイッチをOFFにしてください。

スイッチをOFFにした直後は、タンク内にお湯が残っているためお湯が出ますが、時間がたつと水に変わります。

ESWM3□FWタイプをお使いの場合は、スイッチ ONのままでも湯水切替ボタンによる出水が可能です。



お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

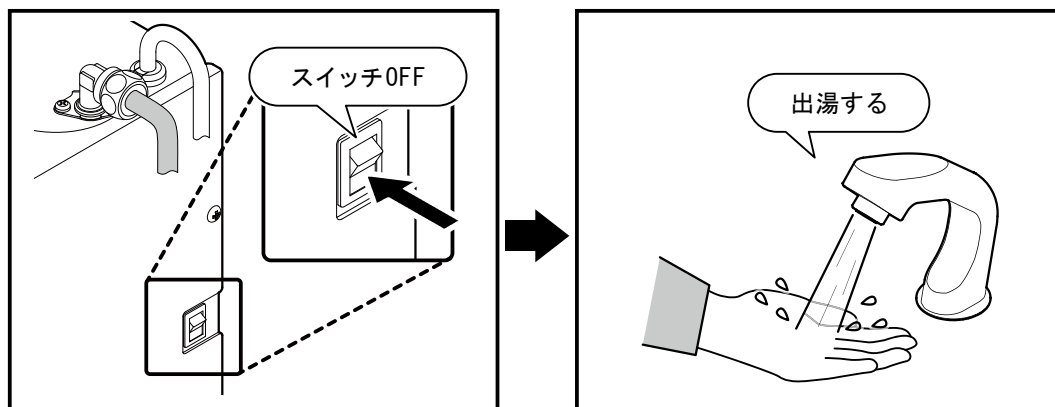
点検項目	点検内容	点検の目安
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	自動水栓から出湯して、タンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回／年

長期間使用しないときは

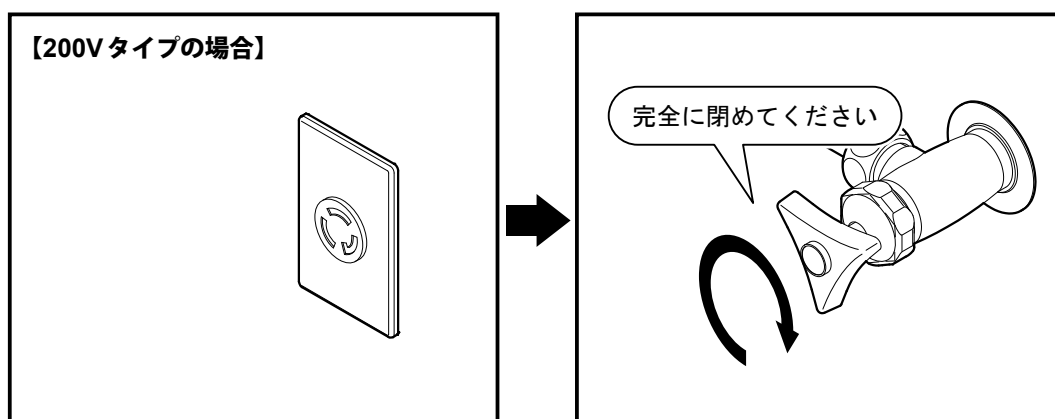
長期間、温水器および水栓をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

排水の準備

①運転スイッチをOFFにして、水になるまで水栓から出湯します。



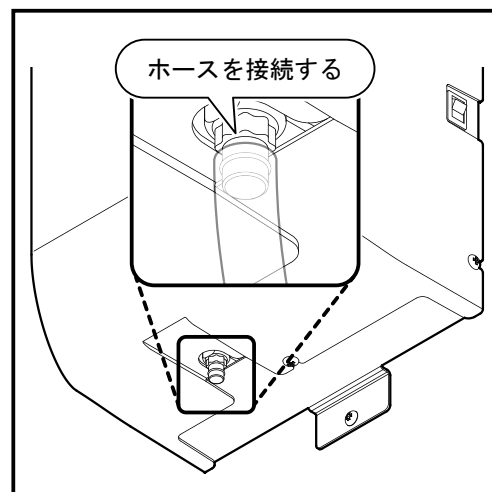
②水栓からのお湯が水になったら、電源プラグをコンセントから外し、止水栓を完全に閉めます。



排水を行う

排水を行う前に必ずP.32「排水の準備」を行ってください。

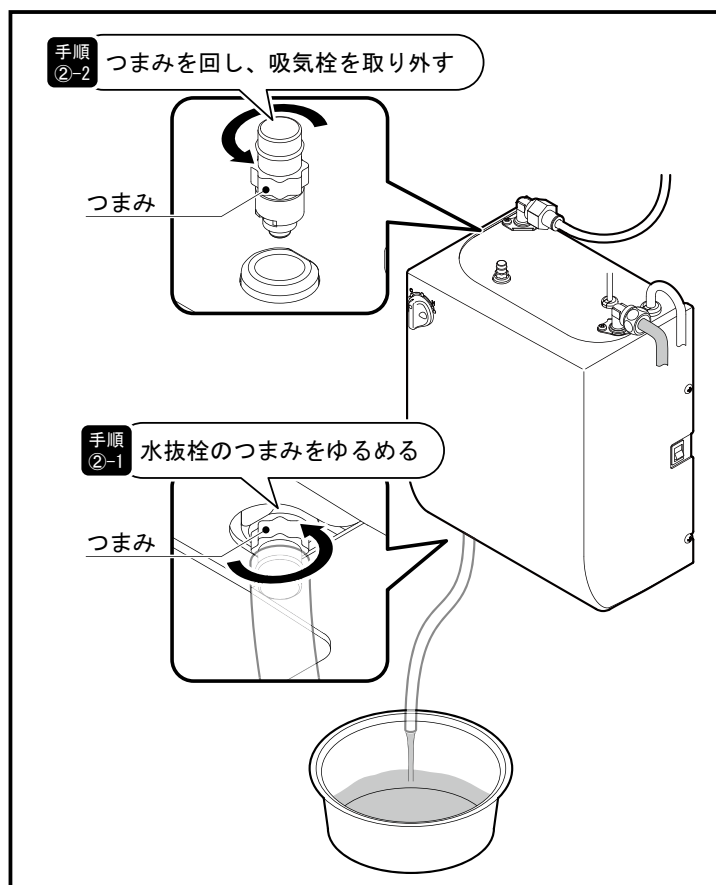
- ① 本体下部の水抜口にホース（お客様手配品：適合ホース内径 9mm）を奥までしっかりと差し込みます。



- ② 水抜栓のつまみをゆるめて※から、吸気栓を取り外してください。排水が開始されます。（排水の際は容器から水があふれないようご注意ください。）

※水抜栓は回しすぎると外れてしまいますのでご注意ください。

- ③ 排水が終了したら水抜栓を閉め、吸気栓を取り付けてください。



※上記の方法で水が抜けにくい場合は、アフターサービス窓口までお問い合わせください。

短期間使用しないときは

短期間温水器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

- ご使用を停止する場合
 - ・運転スイッチをOFFにしてください。
- 停電の場合
 - ・温水器の操作、止水栓の開閉など、機器や配管に対処する必要はありません。
 - ・停電からの復旧をお待ちください。
- 断水の場合
 - ・止水栓を閉め、運転スイッチをOFFにして、断水が終了するまでお待ちください。

吐水口の清掃

吐水口に水垢やスケールが付着すると、水栓から出るお湯(水)の量が少なくなったり流れが乱れたりしますので、清掃を行ってください。

清掃前の準備

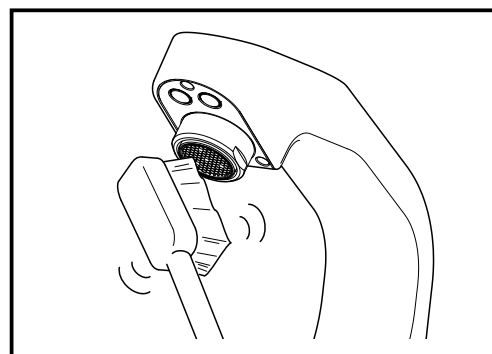
- ①以下のことを確認してください。
 - ・運転スイッチがOFFになっている。
 - ・電源プラグがコンセントから外れている。
 - ・止水栓が閉まっている。

清掃を行う

(ESWM3□SS、ESWM3□SKの場合)

- ①ナイロンブラシなどで吐水口に付着している水垢やスケールをはがします。
- ②機器を復旧して出湯すると、はがれた水垢やスケールが洗い流されます。

※図はESWM3□SSですが、ESWM3□SKも同様です。



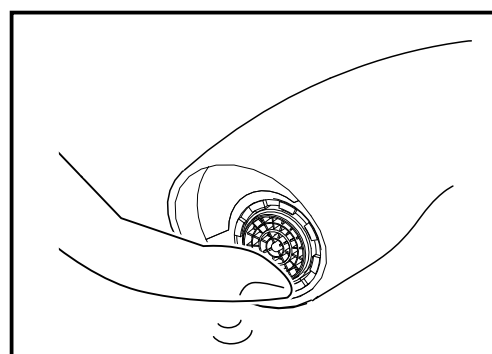
清掃を行う

(ESWM3□SW、ESWM3□FWの場合)

- ①吐水口を指先でこすって、ゴムに付着している水垢やスケールをはがします。

注：ゴムが欠けたり、キズが付くおそれがありますので、爪でこすったりブラシなどは使用しないでください。

- ②機器を復旧して出湯すると、はがれた水垢やスケールが洗い流されます。



ストレーナーの清掃(ESWM3 □ FW 以外の場合) 管理技術者の方

※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ストレーナーにゴミが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因となります。水栓から出るお湯(水)の量が少なくなりましたら、清掃を行ってください。

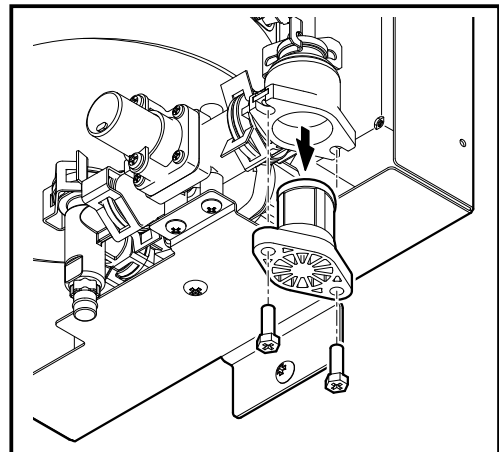
清掃前の準備

- ① P.32『長期間使用しないときは』をご参照の上、排水を行ってください。
- ② 以下のことを確認してください。
 - ・運転スイッチがOFFになっている。
 - ・電源プラグがコンセントから外れている。
 - ・止水栓が閉まっている。

清掃を行う

- ① P.41『前面カバーの取り外し方法』を参照し前面カバーを外します。
- ② 固定ネジ2本を外し、ストレーナーを取り外します。

注：ストレーナーを取り外した際に少量の水が出ますので、水を受けるものを用意してください。

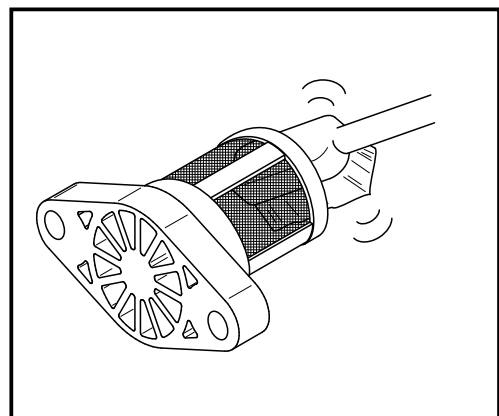


- ③ 取り外したストレーナーのフィルタ部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除きます。

- ④ ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付け後、給水を行い、漏水がないか確認してください。漏水があった場合は再度取り付け直してください。

給水方法は、P.24『温水器に給水する』を参照。

- ⑤ 前面カバーを取り付けて終了です。



ストレーナーの清掃(ESWM3□FWの場合)

ストレーナーにゴミが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因となります。水栓から出るお湯(水)の量が少なくなりましたら、清掃を行ってください。

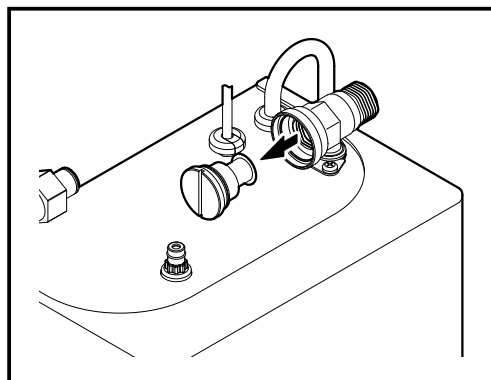
清掃前の準備

- ① P.32『長期間使用しないときは』をご参照の上、排水を行ってください。
- ② 以下のことを確認してください。
 - ・運転スイッチがOFFになっている。
 - ・電源プラグがコンセントから外れている。
 - ・止水栓が閉まっている。

清掃を行う

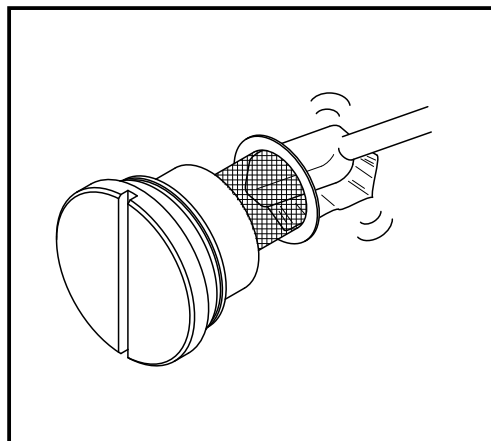
- ① 給水接続部のストレーナーをマイナスドライバーなどで回して取り外します。

注：ストレーナーを取り外した際に少量の水が出ますので、機器が濡れないように雑巾などで受けてください。



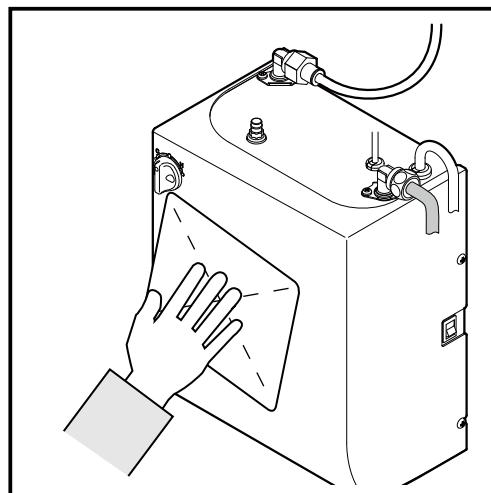
- ② 取り外したストレーナーのフィルタ部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除きます。

- ③ ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付け後、給水を行い、漏水がないか確認してください。漏水があった場合は再度取り付け直してください。
給水方法は、P.24『温水器に給水する』を参照。



温水器のお手入れ

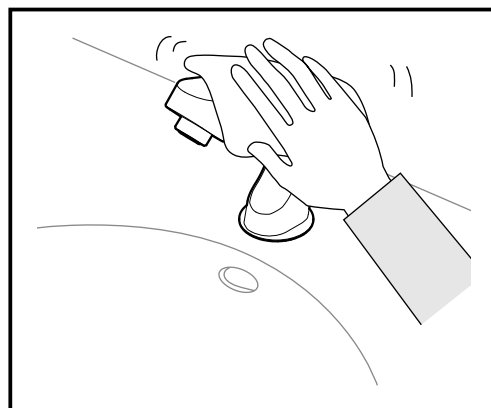
水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



自動水栓のお手入れ

【本体のお手入れ】

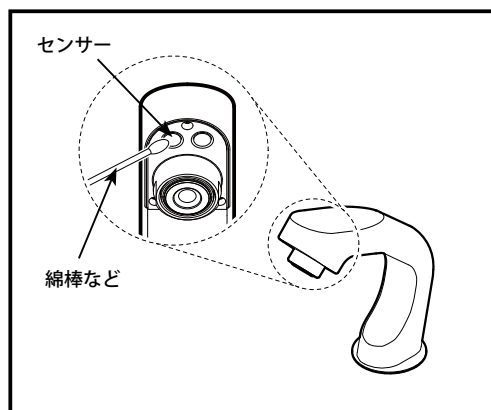
水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



【センサー部のお手入れ】

水に浸した綿棒などで汚れを拭きとってください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸した綿棒などで汚れを拭きとった後、水拭きしてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

清掃時はセンサー面を傷つけないようご注意ください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

温水器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。
ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

タイマーの操作方法は、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側のブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	運転スイッチまたはタイマーの設定がOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。タイマーは設定を変えてみて、通電すればセットし直してください。設定方法は付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。
	安全装置が作動していませんか？	本機には「空焚き検出」および「過昇温検出」(サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止)兼用装置が装備されています。復帰するには原因を取り除いたうえで、管理技術者の方にご依頼ください。(P.42『リセットの方法』参照)
	電圧が誤っていませんか？	100Vの温水器を200Vで使用するとヒーターが断線します。200Vの温水器を100Vで使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。P.40『停電後の対応について』もご確認ください。
湯温が低い または 沸き上がり時間 が長すぎる	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	給水温度が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。
	湯かげんダイヤルの設定がC(低い)になっていませんか？	P.30『出湯温度の変更方法』を参照し、希望の温度になるよう設定してください。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足していませんか？	止水栓を開いて調整してください。 吐水口に付着している水垢やスケールを取り除いてください。(P.34『吐水口の清掃』参照) ストレーナーに詰まりがある場合は、管理技術者の方に依頼し(型番に依る)、取り除いてください。(P.35『ストレーナーの清掃』参照) 上記の対処でも改善しない場合は、給水口に取り付けられている定流量弁を取り外してください。(P.44『定流量弁の取り外し方法』参照)
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
	自動水栓のセンサーが汚れていませんか？	P.37『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。

取扱説明

こんなときは

状 況	ご確認ください	対処方法
湯(水)が止まらない	自動水栓のセンサーが汚れていませんか？	P.37『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
水しか出ない	湯水切替ボタンの設定が水側(青ランプ点灯)になっていませんか？(ESWM3□FWのみ)	湯水切替ボタンを押し、湯側(橙ランプ点灯)に設定してください。
湯(水)がすぐに止まる	自動水栓のセンサーが汚れていませんか？	P.37『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
	自動水栓の吐水開始から60秒経過していませんか？	自動水栓は60秒経過すると自動で吐水を停止します。再度手をかざし直してください。
非常に熱い湯が出る	熱いお湯が連続して出続けていますか？	自動混合弁が故障している可能性がありますので、アフターサービス窓口までご連絡ください。
瞬間的にお湯の温度が高くなるまたは低くなる	その後のお湯の温度は一定になっていますか？	製品の構造上、お湯をしばらく使っていなかった後の出湯は一時的に設定よりも高い温度(約43℃)が出る場合がありますが故障ではありません。
自動水栓の吐水口からポタポタと滴下している	沸かし上げ中ですか？	本製品は元止式のため、沸かし上げ中は吐水口からポタポタと滴下しますが異常ではありません。 沸かし上げが終了すると滴下は止まります。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	ただちに使用を中止(運転スイッチをOFFに)して止水栓を閉め、電源プラグを抜いた後、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。
温水器本体から音がする	沸かし上げ中ですか？	沸かし上げ中は湯温の上昇に伴って湯沸器本体から沸かし上げ音がする場合がありますが、故障ではありません。
給水時、温水器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、Rを大きくするなど曲げ方を工夫してください。
自動水栓のLEDが点滅し続けている	センサー部が汚れていませんか？	自動水栓の感知距離調整が失敗しています。P.37『自動水栓のお手入れ』をご参照の上、センサー部を清掃してください。
	自動水栓のセンサー付近に障害物などありませんか？	自動水栓の感知距離調整が失敗しています。障害物などを取り除いてください。

停電後の対応について

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。

自動運転中に停電が起きた場合は自動運転で、運転停止中に停電が起きた場合は運転停止状態で復帰します。また、停電後には以下のことをご確認ください。

ご確認ください	対処方法
現在時刻・曜日の設定は正しいですか？	正しい場合はそのままお使いいただけます。 誤っている場合は、デジタルタイマー取扱説明書 P.5『現在時刻の設定』を参照し、再設定してください。

その他の不具合およびエラーメッセージについて

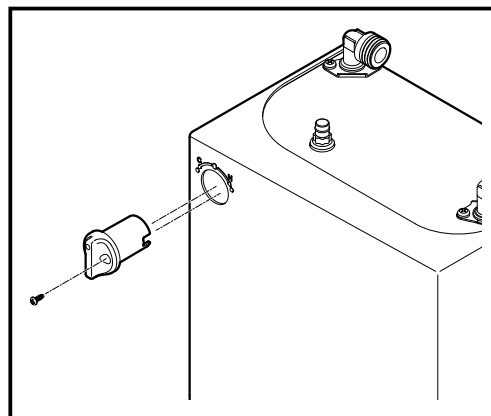
その他の不具合および操作パネルに表示されているエラーメッセージについては、製品に付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。

それでも症状が改善されない場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

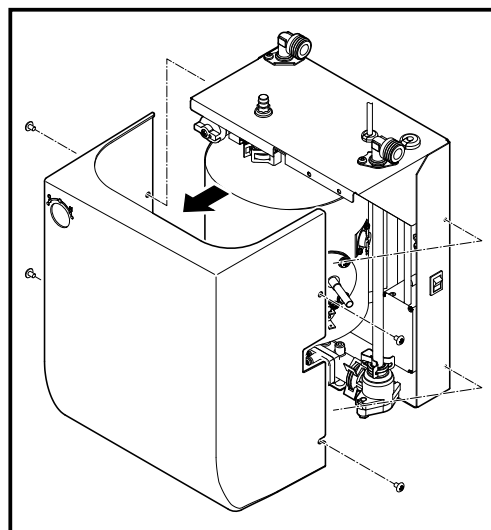
前面カバーの取り外し方法 **管理技術者の方**

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

- ①湯かげんダイヤル固定ねじを外し、ダイヤルを取り外します。



- ②側面 4 ケ所と底面 1 ケ所のねじを外し、前面カバーを取り外します。

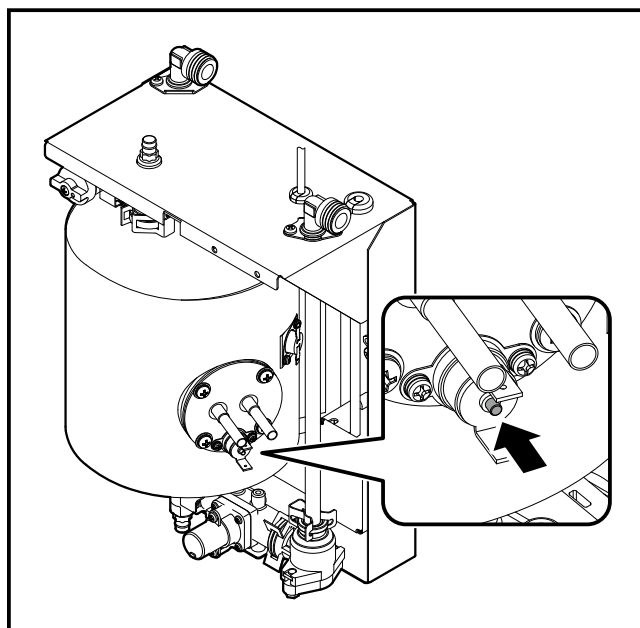


リセットの方法 **管理技術者の方**

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

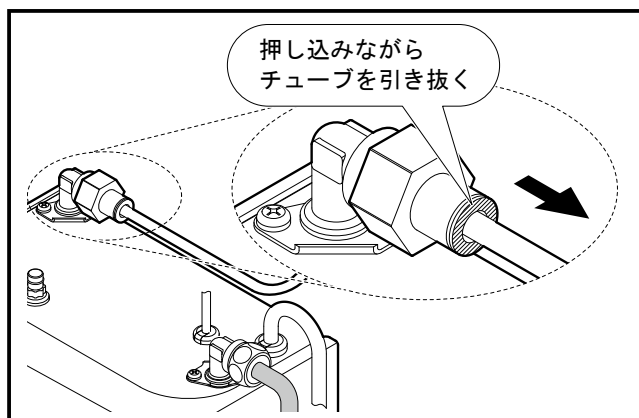
ESWM3(C)には「空焚き検出」および「過昇温検出」(サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止)兼用装置が装備されています。

何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから外した後、原因を取り除いたうえで前面カバーを外し、十分に温度が下がってから下図矢印部分の空焚、過昇温リセットボタンを押してください。



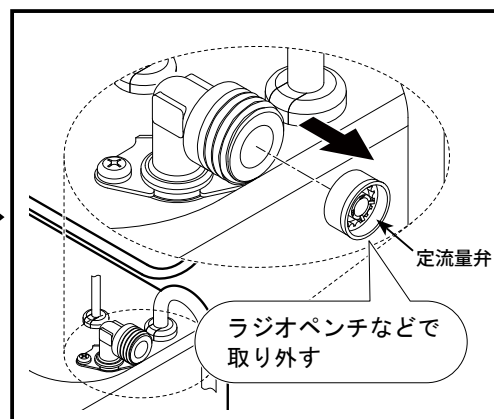
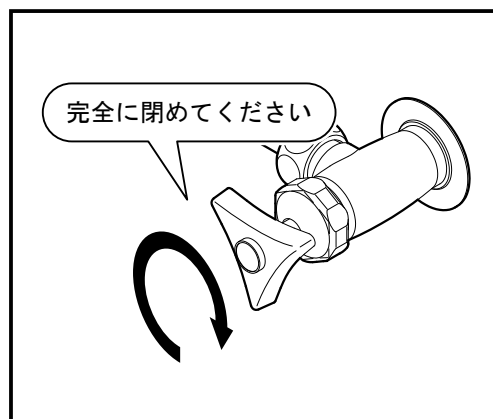
給湯接続チューブの取り外し方法

ワンタッチチューブコネクタの入り口付近(斜線部)を押しこんで、給湯接続チューブを引き抜いてください。



定流量弁の取り外し方法

- ① 止水栓を閉じた後で給水接続配管を外してください。
- ② 給水口内部に取り付けられた定流量弁をラジオペンチ等で取り外してください。



アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため、定期的に交換してください。

部品交換(有償)はアフターサービス窓口までご連絡ください。

部品名		交換時期の目安	交換いただく理由
弁・パッキン	電磁弁	設置、交換日より 3～5年	長期間で使用いただくことにより、 経年劣化やスケール※による動作不 良や漏水を起こす可能性があります。 漏水が起きた場合大きな被害 を与えることがありますので、交換 することによりそれらを防止します。 (※水道水中のミネラル分が固着した もの。)
	混合弁ユニット		
	定流量弁		
	給水接続金具(逆止弁・ストレーナー内蔵)		
	吐水口(泡沫)・Oリング・パッキン類		
電装部品	ヒーター	設置、交換日より 5～7年	
	タイマー		
	過昇温防止スイッチ		
	センサー類		
	ケーブル・コード・配線類		
	その他電装類		

※使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P46の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

保証票		電気温水器	
型番	貯湯量	満水質量	最高使用圧力
電 源		屋内用	
周 波 数	50/60Hz	PSE JET	
消 費 電 力			
保証期間 納入後3年間			
製造番号			
株式会社日本イトミック			

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45 ~ 17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP 電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。以下故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(裏表紙に記載)

故障状況シート

貴 社 名		ご担当者名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製 品 型 番	ESWM3		
電源、電力		製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状 態			

取扱説明

MEMO

取扱説明

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （1）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （2）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （3）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （4）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （5）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （6）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （7）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （8）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （9）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様で自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

市内通話料でOK
ナビダイヤル® **0570-011039**

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

《担当エリアと営業所》

北海道地区 TEL : 011 (615) 6681
北海道営業所 FAX : 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 TEL : 022 (357) 0848
東北営業所 FAX : 022 (357) 0847
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 TEL : 03 (3621) 2121
(株)日本イトミック 本社 FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 TEL : 052 (222) 2561
中部営業所 FAX : 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 TEL : 06 (7177) 4949
関西営業所 FAX : 06 (7177) 4948
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 TEL : 082 (240) 1361
中国営業所 FAX : 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 TEL : 092 (481) 3911
九州営業所 FAX : 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県